



台湾における対日世論調査

2009年4月

財団法人 交流協会

ニールセンに委託し、対日世論調査を実施したところ、結果は以下のとおり。

調査手法

調査方法: インターネットによるアンケート + コンピュータ補助システムによる電話アンケート(Web-CATI)

- インターネットアンケート: 40 才以下の調査対象に限定。
- コンピュータシステム電話アンケート: 40 才以上の調査対象に限定。

目標回答者: 20-80 才の男性/女性。

サンプル数 : 合計 1040 件

- 統計学上ではサンプル数が 1,000 の時、誤差は $\pm 3.10\%$ 以内に抑えられ、調査結果はメディア報道に際しての信用度を満たす。
- インターネットアンケート: 473 件
- コンピュータシステム電話アンケート: 567 件

研究地域: 台湾全域

アンケート内容量: 10 分間

調査時間: 11/17 ~ 12/12

サンプリング方法: 人口比率に従い、性別、地域、年齢別にサンプリング。

- 40 才以下の回答者はニールセン社の YourVoice Panel によるランダムサンプリング。
- 40 才以上の回答者は電話アンケートによるランダムサンプリング。

サンプル加重平均設定:

本研究は 1040 件のサンプルを完成し、台湾の人口分布 に従い、実際のサンプル数の加重平均値を出すことにより、今回調査の代表する母数を算出:

加重平均後のサンプル:

	Total	年齢				
		20-29	30-39	40-49	50-64	65-80
實際	1040	237	236	226	231	110
加重平均 (‘000)	16,626	3,677	3,675	3,732	3,727	1,815

	Total	性別	
		男	女
實際	1040	520	520
加重平均 (‘000)	16,626	8,320	8,307

	Total	地域			
		北部	中部	南部	東部
實際	1040	437	260	292	51
加重平均 (‘000)	16,626	7,033	4,136	4,704	752

回答者の基本データ

	全体		全体
性別	%	教育程度	%
男性	50	中卒或はそれ以下	17
女性	50	高卒/職業学校卒	25
年齢		大学/専門学校/技術学院卒	50
20-29才	22	大学院或は以上	8
30-39才	22	仕事状況	
40-49才	22	正社員	57
50-64才	22	アルバイト	6
65-80才	11	主婦	14
地域		学生	6
北部	42	休業中/無職	7
中部	25	退職	9
南部	28	家庭月間収入額	
東部	5	NT\$24,999元或はそれ以下	9
婚姻状況		NT\$25,000元～49,999元	23
独身	31	NT\$50,000元～99,999元	33
既婚	67	NT\$100,000元～139,999元	13
離婚/別居	1	NT\$140,000元或は以上	9
寡婦/寡夫	1	回答拒否	2
		分からない	11

注：

1. 結果は、全てパーセンテージにて表示。
2. 表中の「-」は回答が「0」であったことを表し、「*」は回答者数の全体に占める割合が1%以下であったことを表す。

Q1: あなたの最も好きな国(地域)はどこですか？

		38	5	3	2	2	2	2	2	2	44	12	7	4
		日本	アメリカ	スイス	大陸 / 中国	シンガポール	カナダ	フランス	ニュージーランド	オーストラリア	アジア	ヨーロッパ	北・中南米	大洋州
		%												
性別	男性	35	7	3	3	2	2	1	2	2	42	11	8	4
	女性	40	3	3	1	2	3	3	2	3	46	13	6	5
年齢	20-29	46	7	3	*	1	1	4	3	2	52	16	8	5
	30-39	57	4	3	-	2	*	1	3	2	61	11	5	5
	40-49	26	4	4	3	3	4	3	2	5	35	14	9	7
	50-64	27	5	3	3	2	3	3	1	1	32	11	8	2
	65-80	29	2	3	4	2	2	-	1	-	37	5	4	1
地域	北部	37	6	3	2	2	3	2	2	2	44	13	9	4
	中部	37	4	3	2	2	2	2	2	3	43	12	5	5
	南部	40	4	2	2	2	2	2	1	2	46	11	7	3
	東部	32	-	6	-	2	-	2	4	9	41	12	-	13
教育程度	中卒 或はそれ 以下	26	2	1	4	4	1	-	1	-	34	4	4	1
	高卒/ 職業 学校 卒	34	4	4	3	2	2	1	2	3	41	9	6	5
	大学/ 専門 学校/ 技術 学院 卒	44	5	3	1	2	3	4	2	3	50	15	8	5
	大学院 或は 以上	40	13	3	1	-	-	2	1	2	41	19	13	3

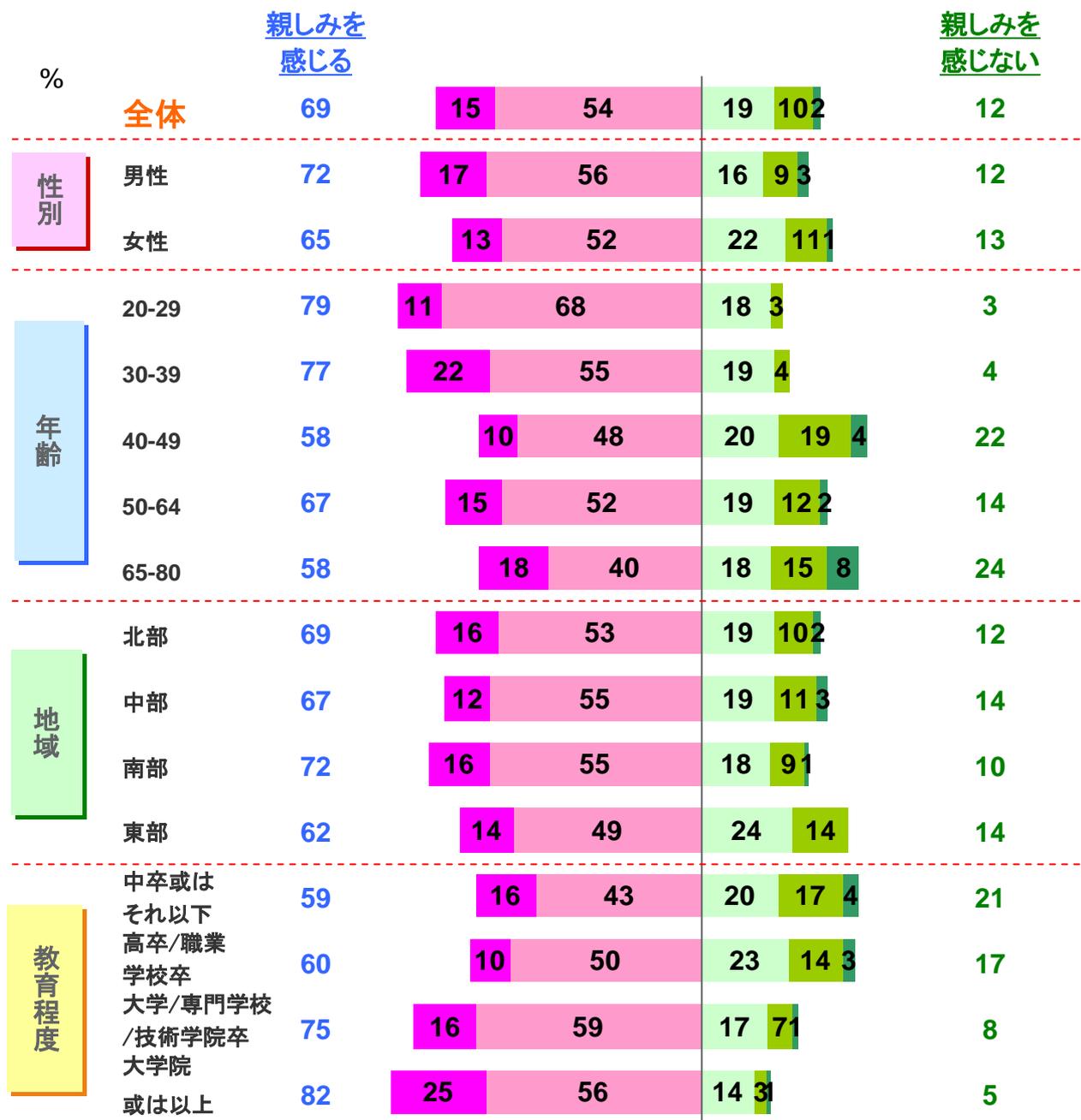
* 本設問に対して、台湾或いは中華民国との回答が31%あったが、台湾以外の国(地域)を回答として想定した設問であったことから、本表に含めていない。

Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国(地域)はどこですか？

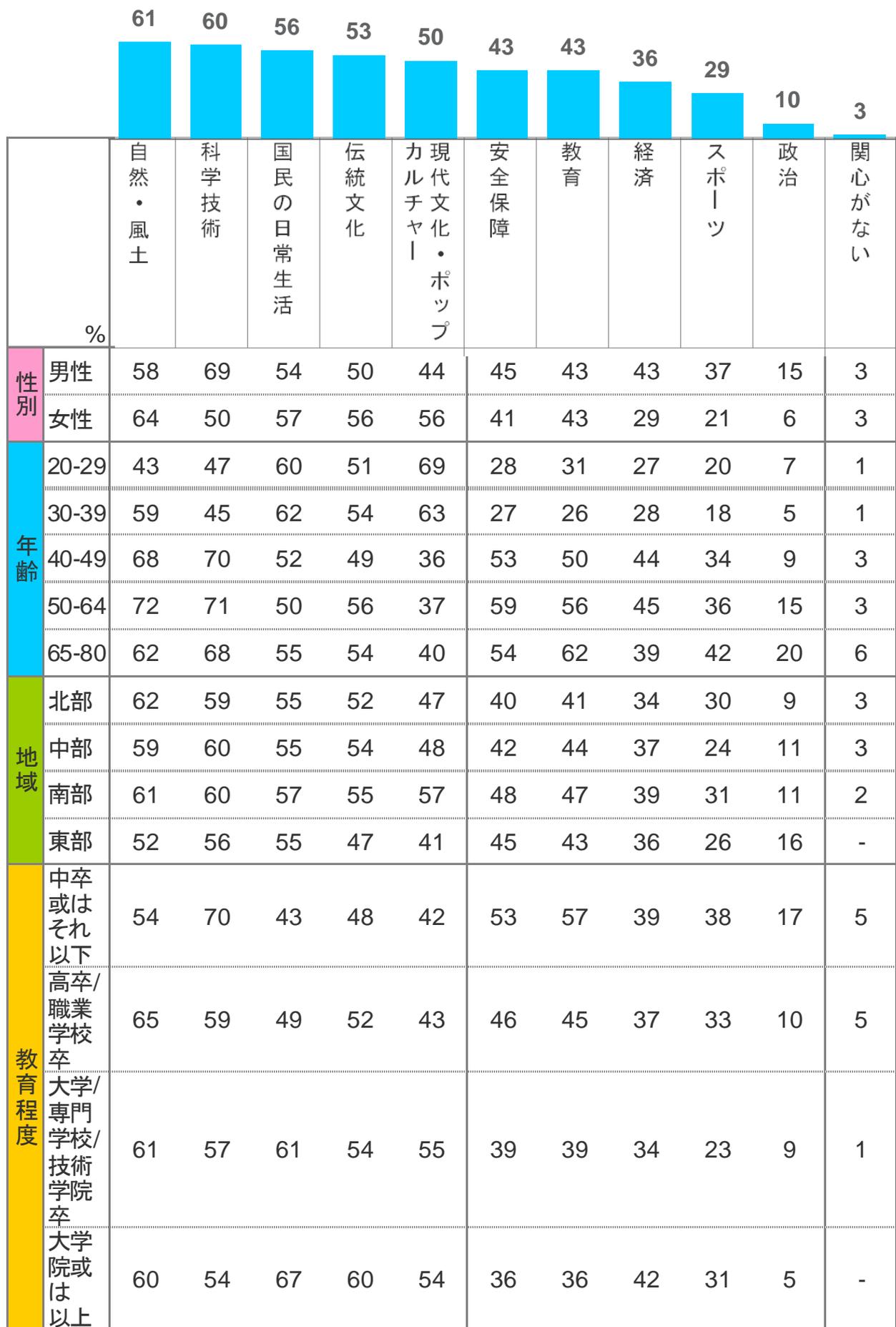
		大陸／中国	日本	アメリカ	シンガポール	韓国	イギリス	オーストラリア	分からない	ない	アジア	北・中南米	ヨーロッパ	大洋州
%		34	31	20	3	1	1	1	3	3	70	20	3	1
性別	男性	37	30	22	3	*	1	1	1	2	71	22	3	1
	女性	31	33	19	2	1	*	*	5	3	69	19	2	1
年齢	20-29	33	38	18	4	1	1	1	1	-	77	18	2	1
	30-39	39	36	15	2	*	-	-	1	1	81	15	2	-
	40-49	32	24	23	4	1	*	1	5	4	63	24	4	2
	50-64	32	29	24	1	-	1	*	4	4	63	25	3	1
	65-80	35	28	20	2	-	1	1	6	7	65	20	1	1
地域	北部	36	30	20	2	*	*	*	3	3	71	20	3	1
	中部	35	31	21	2	1	1	*	2	4	70	21	3	1
	南部	31	34	19	3	*	1	1	4	2	70	19	3	1
	東部	26	27	23	5	2	-	2	5	2	62	25	-	6
教育程度	中卒 或はそれ 以下	26	27	25	3	-	-	-	10	8	55	26	1	1
	高卒/ 職業 学校 卒	32	25	25	2	1	1	1	4	3	62	25	3	2
	大学/ 専門 学校/ 技術 学院 卒	37	36	16	2	1	1	*	1	1	78	16	3	1
	大学院 或は 以上	36	34	18	6	-	-	1	-	1	76	18	3	1

Q3: 日本に親しみを感じますか？

- 親しみを感じる
- どちらかというとき親しみを感じる
- わからない
- どちらかというとき親しみを感じない
- 親しみを感じない



Q4: 日本のどの分野に関心がありますか？(複数回答可)



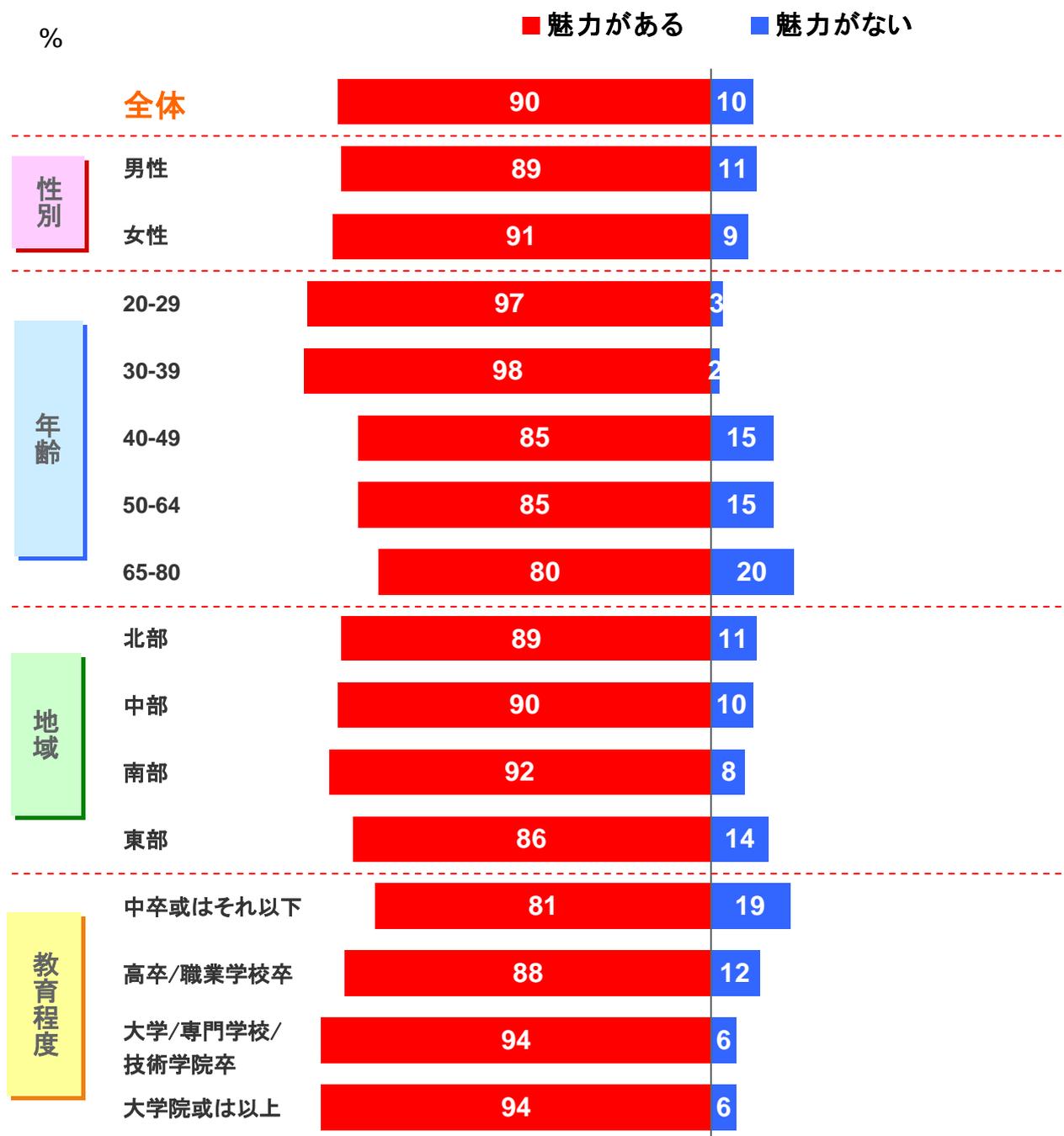
Q5: 日本に対しどのようなイメージを持っていますか？(複数回答可)



Q6: 旅行するとした場合、どこへ行きたいですか？

		日本	ヨーロッパ	中国大陸	アメリカ	東南アジア	韓国	アジア	ヨーロッパ	北・中南米	大洋州
%											
性別	男性	44	28	10	7	4	2	62	29	7	1
	女性	45	35	6	5	3	2	57	36	6	1
年齢	20-29	52	27	4	8	4	2	63	27	8	1
	30-39	59	27	3	4	5	2	68	27	4	-
	40-49	32	42	9	6	3	4	49	43	7	1
	50-64	35	36	12	6	4	1	53	37	7	1
	65-80	48	19	14	6	4	2	70	21	6	-
地域	北部	42	33	8	7	5	2	57	34	7	1
	中部	45	34	9	4	3	2	61	34	4	1
	南部	49	26	7	7	3	3	62	27	8	*
	東部	36	38	10	6	6	4	55	38	6	2
家庭月間収入額	5万未満	44	25	9	8	7	4	65	26	8	*
	5~10万	47	33	8	5	1	1	59	33	6	1
	10万以上	42	41	4	5	4	1	51	42	5	*

Q7: 日本に旅行したいと考えますか？



Q8: 日本のどこに魅力を感じますか？(Q7で魅力があると回答した人のみ)(複数回答可)



Q9: あなたは日本に関する情報を主にどこから得ていますか？

		43	13	12	11	6	5	3	2	2	2	1
		テレビ	新聞、雑誌	インターネット	自分の訪日経験	家庭	台湾の友人、知人	書籍	映画	ビデオ	日本の友人、知人	学校での教育
		%										
性別	男性	39	14	14	11	5	5	2	2	2	3	2
	女性	46	11	9	10	7	6	4	3	1	2	1
年齢	20-29	47	5	19	6	2	5	3	5	4	2	1
	30-39	41	10	18	15	3	5	2	2	1	2	*
	40-49	44	18	9	8	7	3	3	1	1	1	1
	50-64	40	16	5	11	10	7	4	1	1	3	1
	65-80	37	13	1	14	7	9	3	3	2	4	5
地域	北部	40	11	12	13	5	6	3	2	2	3	1
	中部	43	11	14	9	6	6	3	4	0	2	2
	南部	46	16	9	8	6	4	3	1	3	2	1
	東部	41	14	9	10	8	8	3	2	2	-	2
教育程度	中卒 或はそれ 以下	43	7	3	11	11	10	3	2	2	3	4
	高卒/ 職業 学校 卒	47	18	7	7	8	4	2	1	1	2	2
	大学/ 専門 学校/ 技術 学院 卒	41	13	15	12	4	4	3	2	2	2	*
	大学 院或 は 以上	38	6	20	13	2	8	4	2	5	1	1
仕事状況	在職 中	41	13	15	11	5	5	2	2	2	2	1
	主婦	51	11	3	11	9	7	5	1	1	2	1
	学生	41	8	23	5	2	3	5	6	3	2	-
	退職	36	19	2	10	7	7	4	2	-	4	5

Q10: 日台交流における日本側の窓口機関である(財)交流協会を知っていますか？

- よく知っている
- 知っている
- 聞いたことはあるがあまり知らない
- よく知らない
- 聞いたことはない

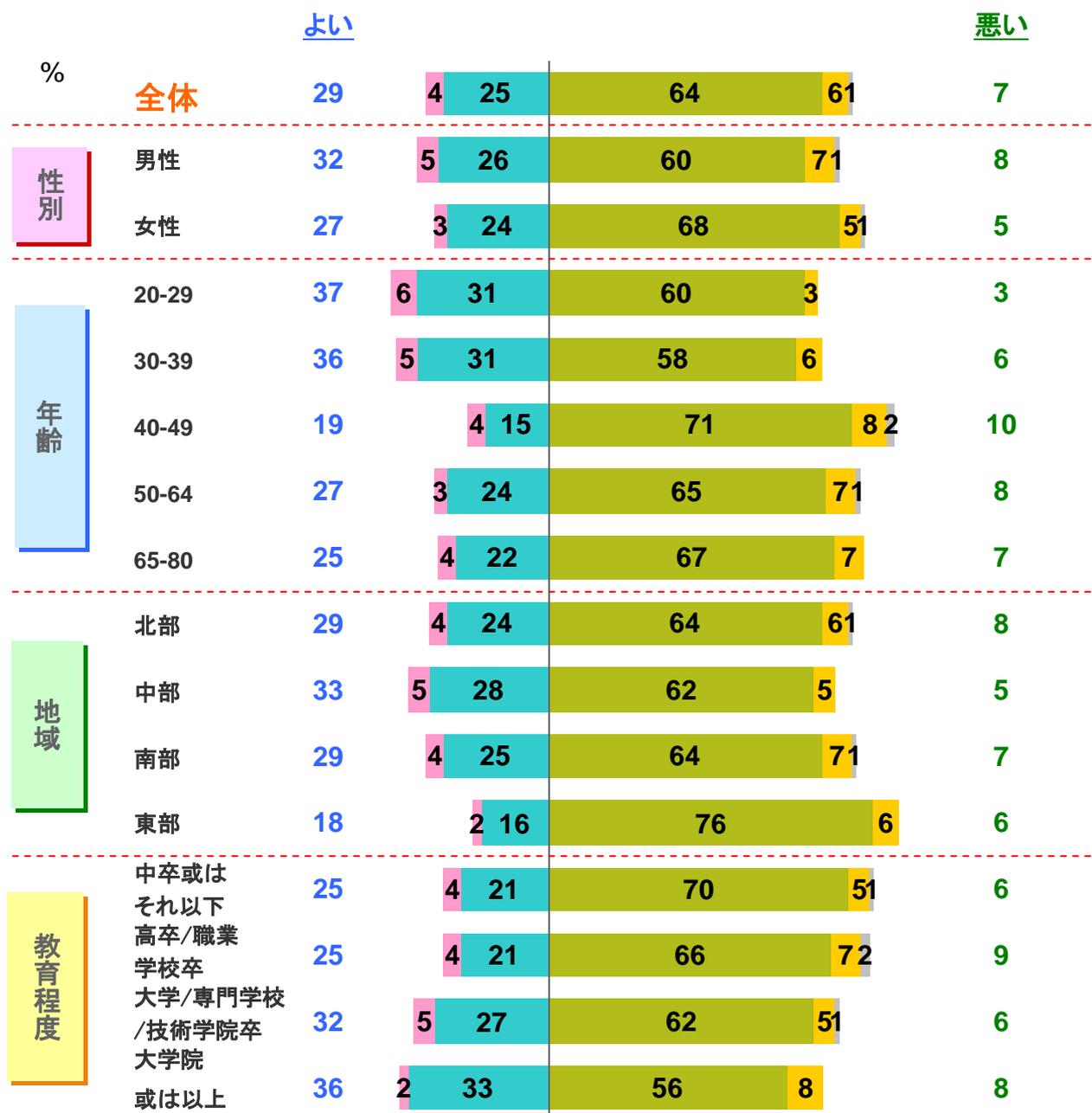
%

聞いたことはある



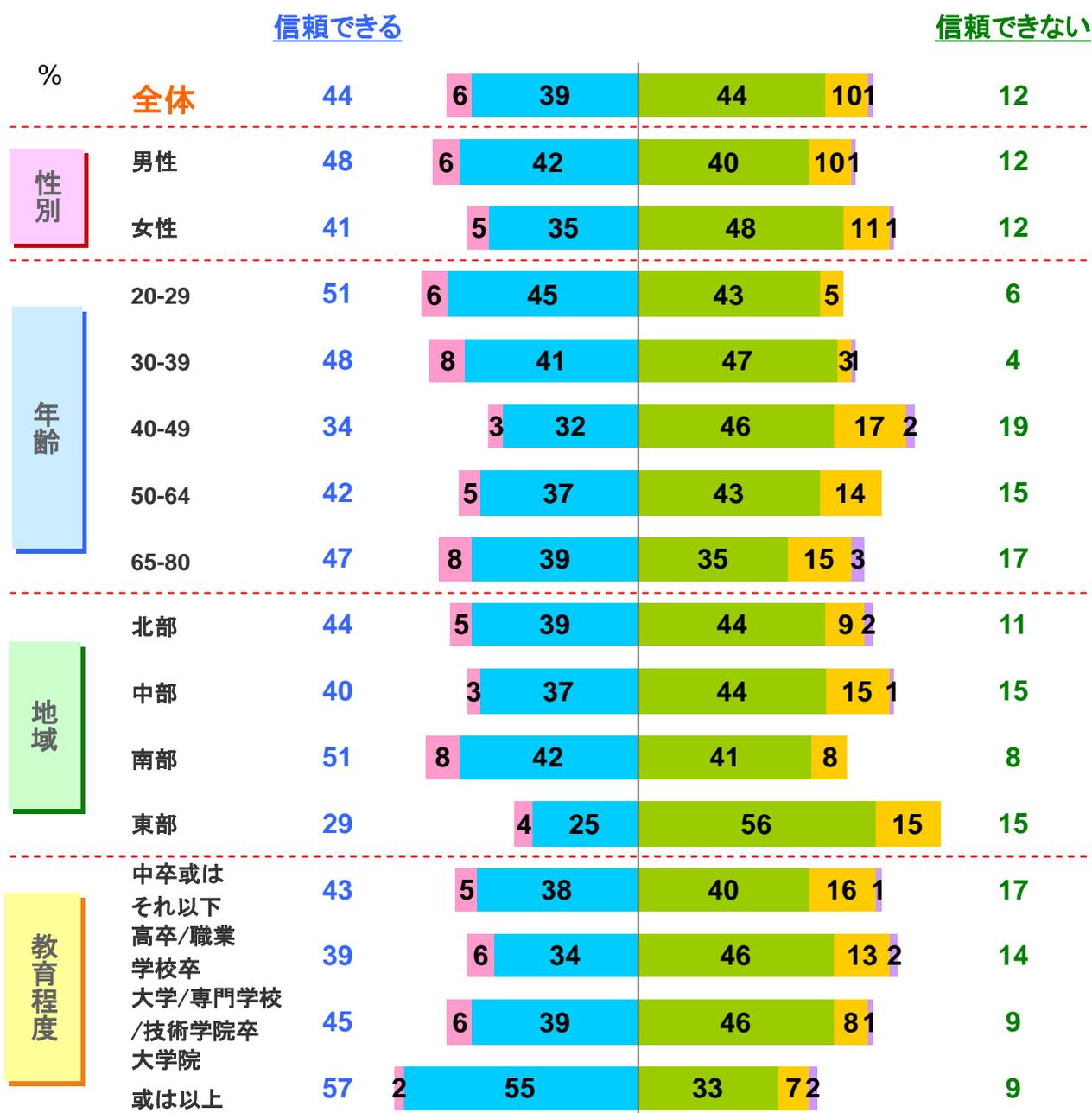
Q11: 現在の日台関係をどう思いますか？

- 大変よい
- よい
- どちらとも言えない
- 悪い
- 大変悪い

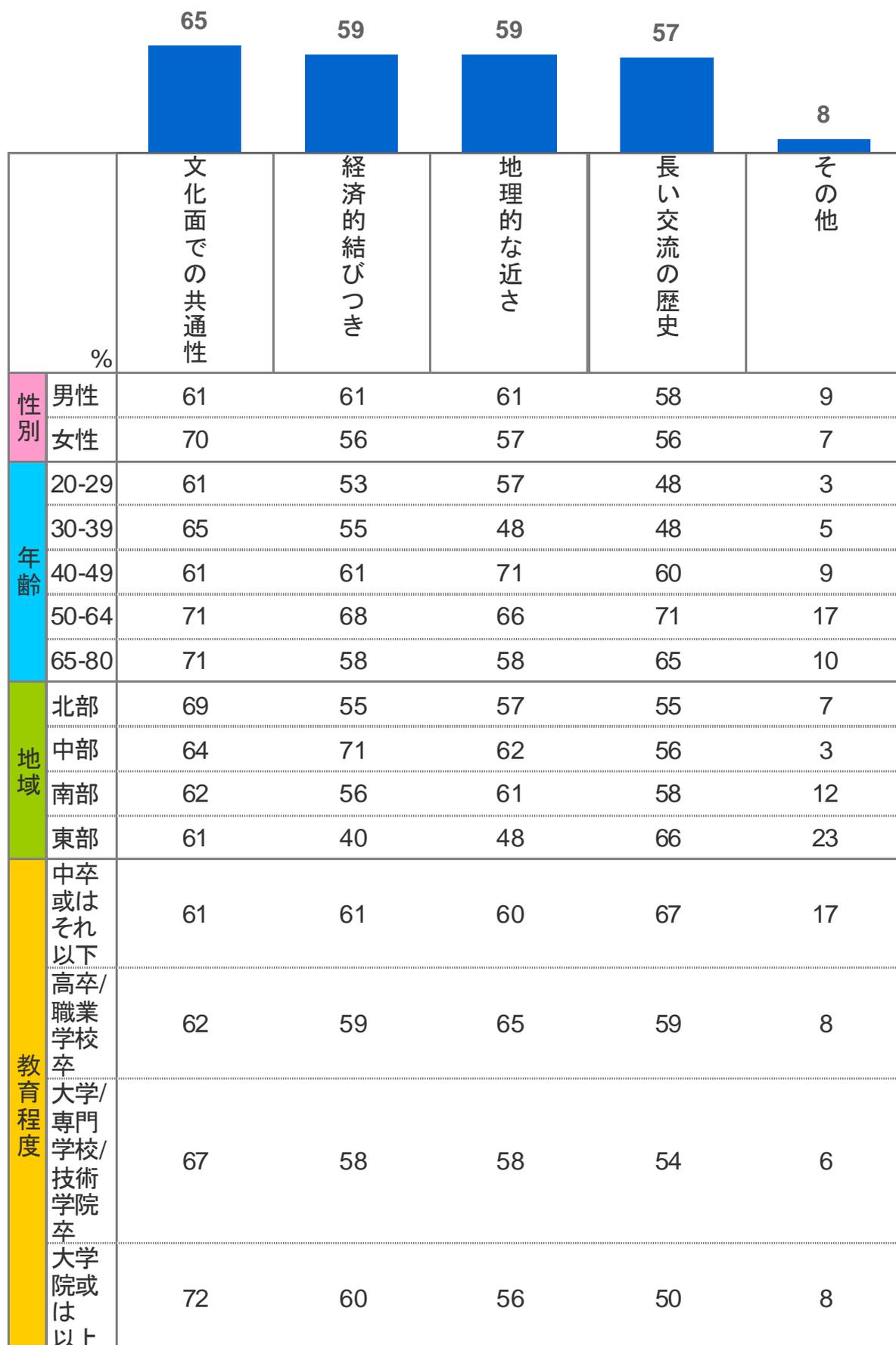


Q12: 日本は信頼できる国と考えますか？

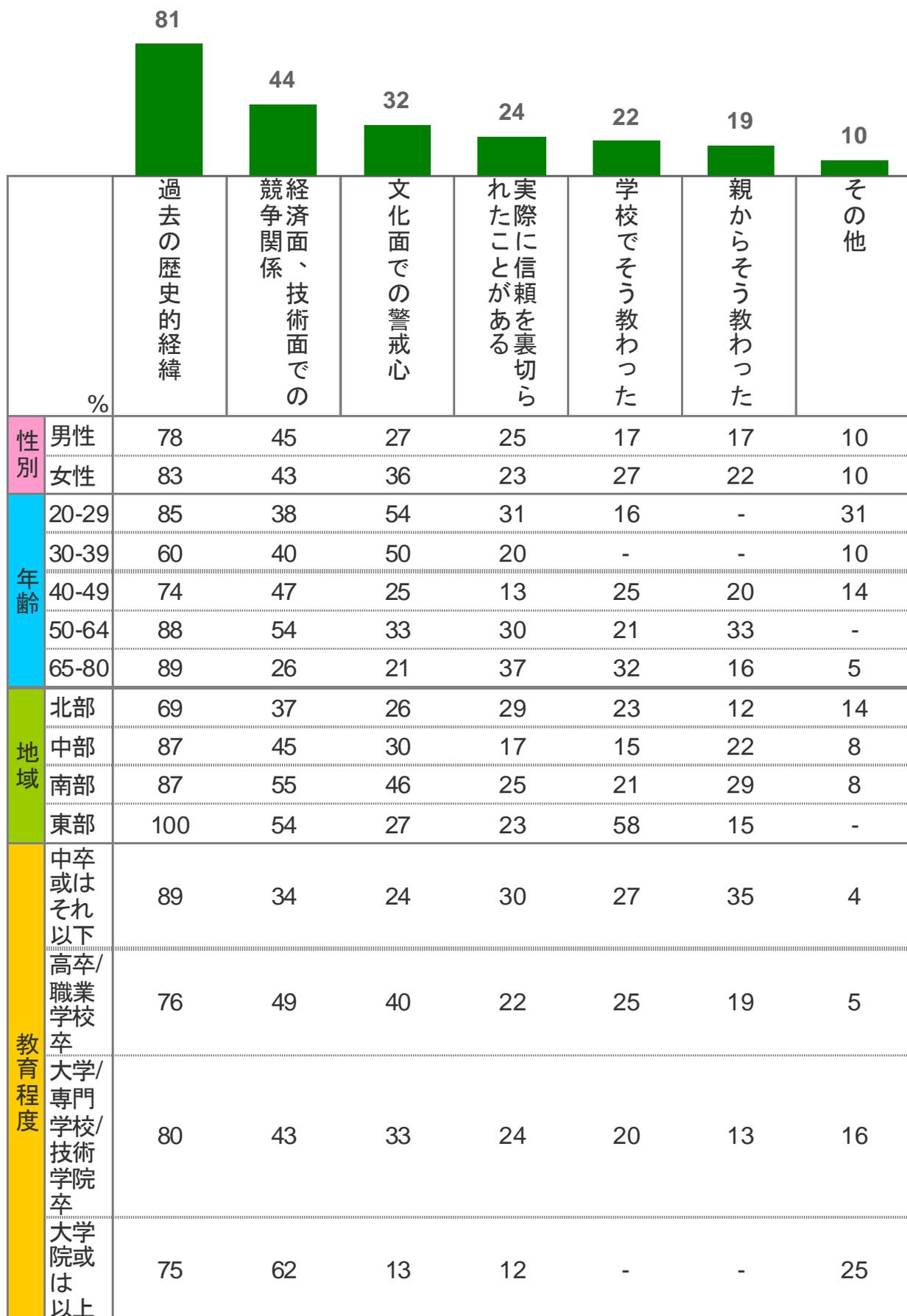
- 非常に信頼できる
- 信頼できる
- 分からない
- 信頼できない
- 非常に信頼できない



Q13: なぜそう考えますか？(Q12を「非常に信頼できる」又は「信頼できる」と回答した人のみ)
(複数回答可)

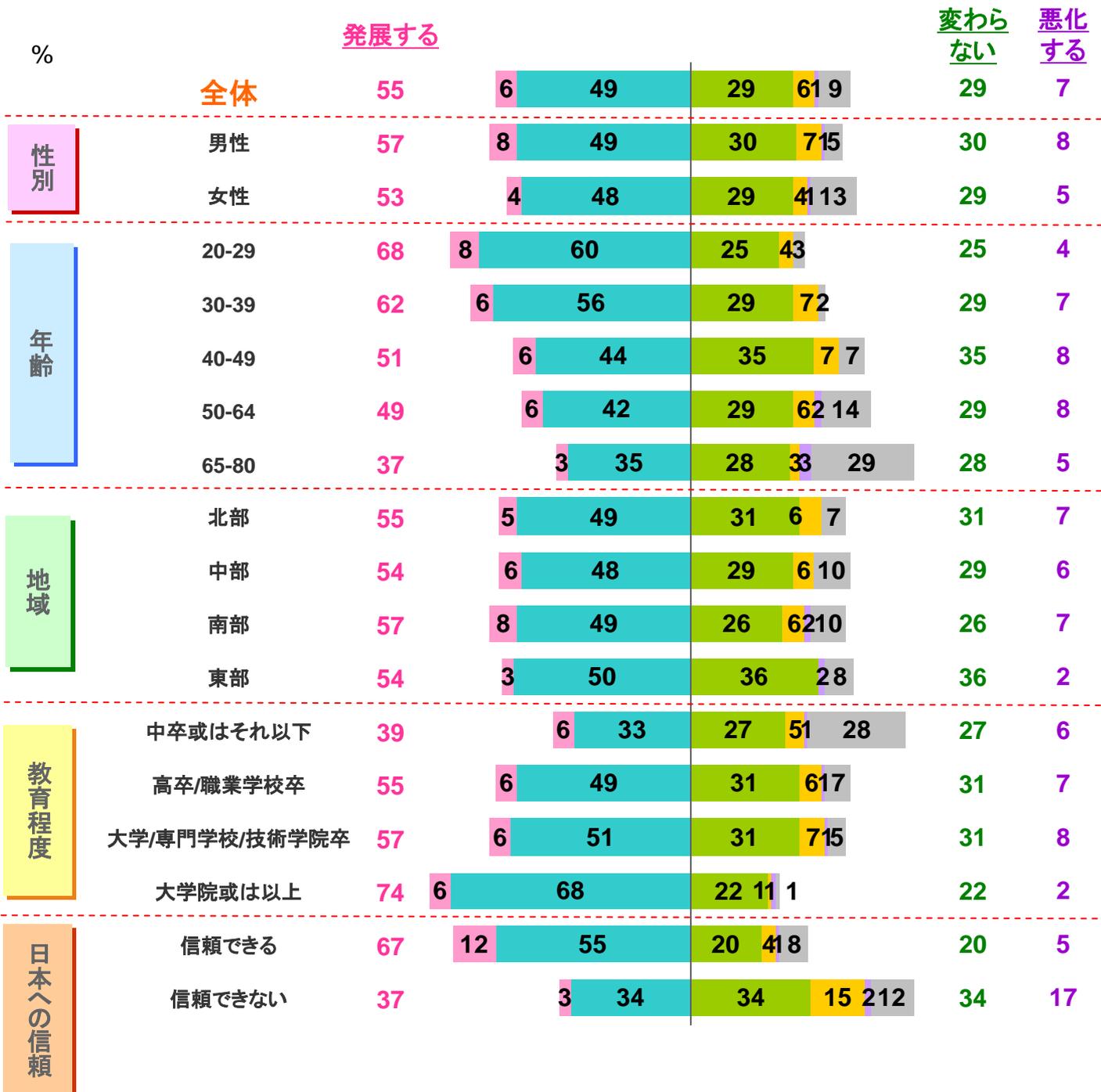


Q14: なぜそう考えますか？(Q12を「信頼できない」又は「非常に信頼できない」と回答した人のみ)(複数回答可)



Q15: 日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか？

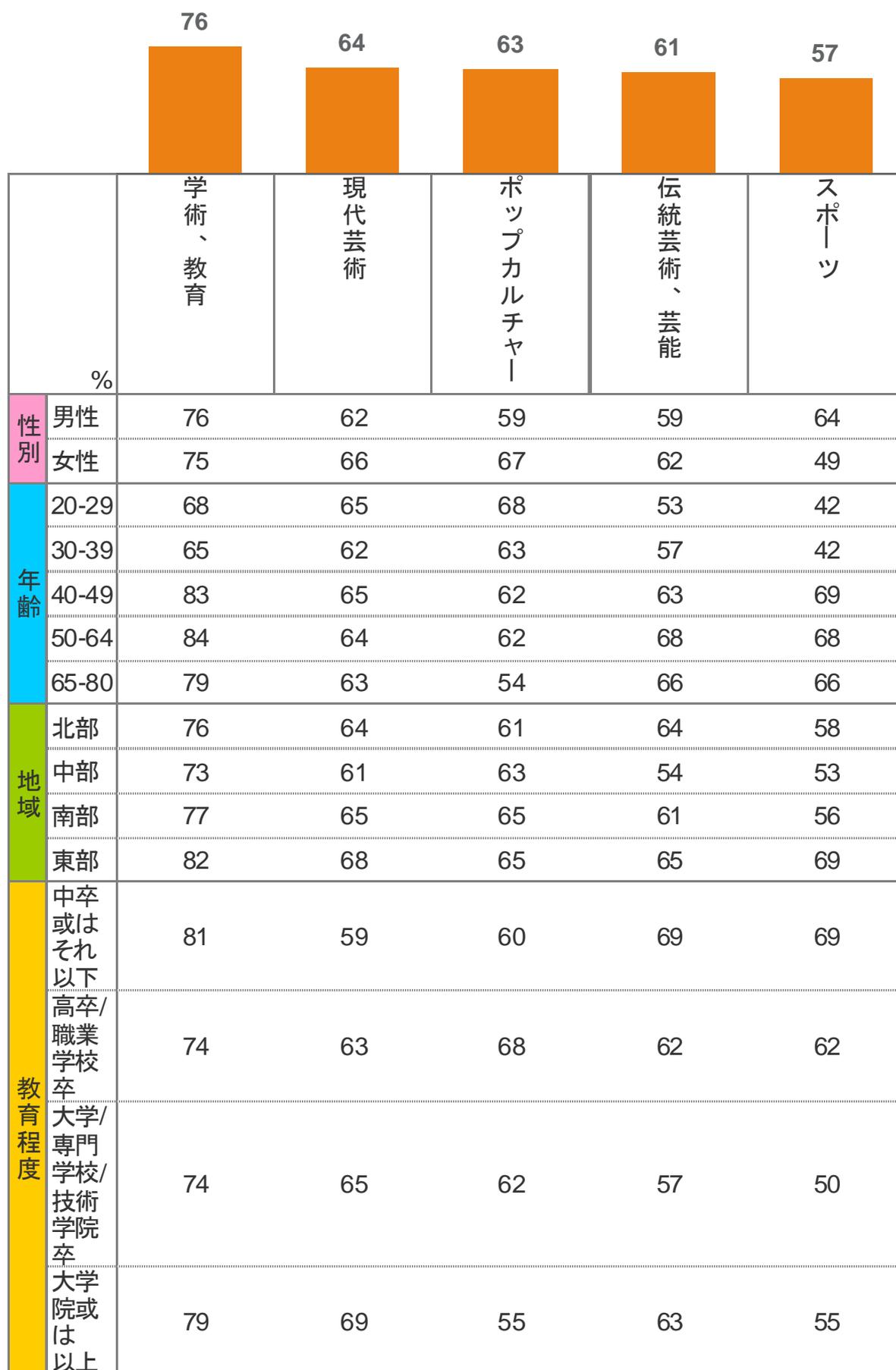
- 大きく発展する
- ある程度発展する
- 変わらない
- ある程度悪化する
- 大きく悪化する
- 分からない



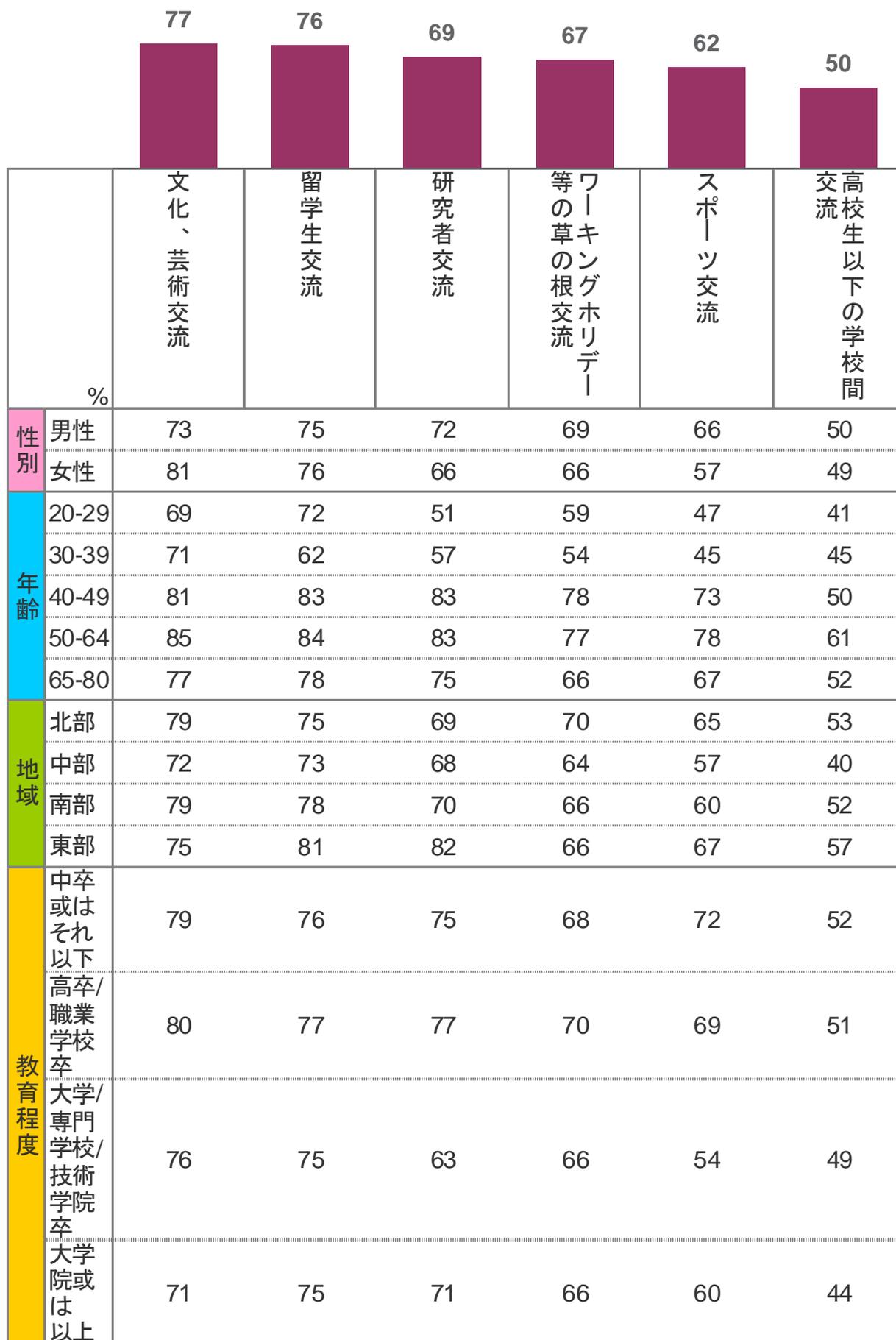
Q16: 日台関係発展のため、どの分野を積極的に推進するべきと考えますか？(複数回答可)



Q17: 日台間の文化交流で、今後積極的に取り組むべき分野は以下のどれと考えますか？
 (複数回答可)



Q18: 日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか？
(複数回答可)



Q19: 日台間で最も心配に感じている案件は以下のどれですか？



Q20: 今後の日本と台湾の関係は、どのようになって欲しいと思いますか？



結論 - 対日世論、日本のイメージ

- 約 4 割の台湾人が最も好きな国は日本と答えた。全体的には、69%の人は日本に“親しみ”を感じており、中でも男性の比率は女性よりやや高い。年齢層から見て、日本が好き及び日本に親しみを感じるのは主に 40 歳以下の人であり、地域的には大きな差異はない。大学/専門学校以上の学歴を持つ人は比較的に日本への好感度が高い。
- 最も好きな国は中国と答えた人は 2%しかいないが、今後台湾が最も親しくすべき国は中国と考える人は 34%もあり、日本(31%)、アメリカ(20%)が続く。
- 女性は日本の自然、風土に最も関心があり、男性は日本の科学技術に憧れる傾向がある。年齢層から見て、40 歳以下の方は日本のポップカルチャーに最も関心があり、40 歳以上の人は日本の自然、風土及び科学技術に最も関心がある。
- 8 割近くの方は、日本は経済力、技術力の高い国と思っており、中でも男性の比率は比較的高い。中高年層の方は日本は自然の美しい国と思っている割合が最も多い。

結論 - 日本旅行 & 日本関連情報の情報源

- 90%以上の台湾人は日本は魅力があり、旅行したい国と考えており、更に 44%の人は最も旅行したい国は日本だと答えている。年齢層から見て、日本に旅行したいと思うのは 40 歳以下の青壮年層に多い。地域から見ると、南部の方は日本に旅行することに強い関心を示している。
- 日本に最も魅力を感じる点は、自然環境と温泉、祭り等の地方文化であるが、特に 40 歳以上の回答者が多い。女性は特にショッピングとテーマパークに魅力を感じ、その割合は男性より高い。

- 台湾人の主な日本関連情報の情報源はテレビで、43%も占めている、中でも女性と若い人の比率が高い。テレビ以外では、40歳以下の青壮年層はインターネット、40歳以上の中老年層は雑誌が主な情報源となる。

結論 - 日台関係全般

- 約30%の人は現在の日台関係は良いと思っている。また、44%の人は日本は信頼できる国と考え、同時に55%の人は日台関係の将来の発展について楽観的である。一般的に、40歳以下の青壮年層は日台関係に対し比較的前向きな態度を示している。40-49歳の人が、日台関係について最も悲観的である。
- 台湾人が日本は信頼できる国と考える主な理由は、文化面での共通性であり、女性の比率は男性より高く、50歳以上の人は日本と台湾との間に文化面での共通性を認める人が多い。日本を信頼できない国と答えた理由は主に過去の歴史的経緯。
- 一般的に日台関係発展のため、最も積極的に推進すべき分野は経済、貿易分野での交流(86%)。文化交流では、今後積極的に取り組むべき分野として学術、教育(76%)分野が挙げられている。青少年交流については、文化、芸術交流が特に促進すべき分野だと考えられている。
- 日台間で最も不安に感じているのは漁業問題(34%)。各年齢層で最も不安に思われている問題は漁業問題及び日本と中国大陸の関係。また、性別や年齢を問わず、台湾人は今後日本と台湾の関係については、経済、貿易などの分野での交流を促進するべきと答えた人が多い。